

## 令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月23日

北海道教育委員会教育長 様

北海道訓子府高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- |   |
|---|
| 1 新学習指導要領を制度的・内容的に確実に実施し、基礎・基本の定着を図る。         |
| 2 地域の教育資源を活用し、キャリア教育の充実に資する「総合的な探究の時間」を実現させる。 |
| 3 自己理解・他者理解の深化によるアイデンティティの確立と対人能力の向上を図る。      |

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	1 本時の目標の明示、見通しをもった学習と定着についてはおおむね十分であり、生徒の満足度も高い。 2 ICTの活用、教科横断的な視点の取組においては、おおむね十分であるが、受験に必要な学力向上には課題がある。	○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	1 生徒の基礎学力の定着のため、授業規律の徹底とともに家庭学習を促す課題を与えるなど教科指導の工夫や授業改善に努める。 2 「総合的な探究の時間」を始め、自らの考えを発表したり、まとめたりする活動を充実させる。 3 3年間の「総合的な探究の時間」を体系化し、地域課題研究とともに生徒のキャリア形成および進路実現（自己実現）を図るものに改善していく。 4 学習評価については、観点別評価の理解に努め生徒の学力を適切に評価できるよう引き続き研究していく。 5 ICTの活用については、様々な研修機会を通じ効果的な活用法を研究していく。	
生徒指導	評価項目全般にわたっておおむね十分であり、今後とも生徒指導の充実に努める。	○左記の自己評価はほぼ適切、改善方策は適切との評価をいただいた。
改善方策	1 基本的な生活習慣やマナー、モラル定着のため日常の生徒指導を充実させる。 2 特別な配慮が必要な生徒など多様な生徒に対応できる生徒指導や教育相談のスキルを高めるための研修に努める。 3 いじめの認知件数は4件。「いじめは絶対に許さない」という姿勢で指導に当たるとともに、生徒が悩みを教職員等に相談できる体制の充実に努める。 4 生徒理解を深めるためにアセス・ほっとなどの分析等を通じ診断結果の有効な活用法を研究する。 5 生徒の発想等をさらに生かした学校祭のあり方について検討をする。 6 生徒会を始め生徒の主体的な活動の支援に努め自己有用感を高める機会を増やす。	
進路指導	1 進路意識の向上、進路目標の早期設定と系統的な進路指導の充実にについてはおおむね十分である。 2 就職者全員内定については今後も進路指導の目標として継続する。	○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	1 各種進路行事が生徒の進路実現に有効に作用しており、内容の充実に一層努める。 2 キャリアパスポートの有効活用のためデジタル移行を選択肢として検討する。 3 進路多様校であることから、教員の進路指導の知識・理解を深めるための研修の機会を充実させる。 4 インターンシップについては、取組の充実に努めている。生徒の進路実現に繋がる取組の工夫を模索する。	
保健安全指導	1 生徒の美化意識の高揚や各種講話による健康安全意識の向上、感染症防止対策の徹底はおおむね十分である。 2 いじめの問題については指導を徹底し、いじめの根絶をめざす。	○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。

改善方策	<p>1 清掃の仕方について継続して見直し、環境美化に引き続き努める。</p> <p>2 保健だより等による啓発活動に引き続き努め、生徒の健康安全意識を高める指導の充実を図る。</p> <p>3 いじめのない学校生活を保障するために、継続的・組織的な対応を行うとともに未然防止や教育相談業務の取組を充実させる。</p> <p>4 基本的な感染症対策を引き続き適切に行っていく。</p>	
組織・運営	<p>1 評価項目全般についておおむね十分であり、今後とも組織として学校運営に取り組む。</p> <p>2 働き方改革を意識し、業務の効率化を図り、ワークライフバランスの向上に努める。</p>	<p>○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。</p>
改善方策	<p>1 スクールミッションを根底に据えた教育活動の充実を図る。</p> <p>2 業務の引継ぎを記録として残し、安易な前例踏襲をやめ、根拠に基づいた業務の遂行を推進する。</p> <p>3 PDCAサイクルを意識した業務をより強く意識する。</p> <p>4 学校の働き方改革に努め、効率的な学校運営とするためのスクラップ&amp;ビルドを一層進めるとともに勤務時間の縮減に努める。</p>	
研修充実	<p>1 今日的なニーズに対応するための研修、生徒や保護者・地域のニーズの把握等についてはおおむね十分である。</p> <p>2 校外研修への参加は、おおむね十分である。</p>	<p>○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。</p>
改善方策	<p>1 学校課題を職員全体で共有することで組織的な対応に努め、生徒の学校生活の充実に向け支援を一層図る。</p> <p>2 専門性を高め、新たな課題に対応するための研修に引き続き努める。</p>	
社会との連携	<p>評価項目全般にわたりおおむね十分であり、引き続き関係機関との連携や地域の教育資源を活用するなどの取組を継続する。</p>	<p>○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。</p>
改善方策	<p>1 保護者・生徒の願いや期待に応える教育活動を一層充実させていく。</p> <p>2 家庭・地域との連携を図り、教育活動の充実を一層図る。</p> <p>3 地域の教育資源を生かした「くねっぴ学」の取組を充実させ、探究活動やキャリア形成に生かせるよう引き続き改善していく。</p> <p>4 引き続き地域の活動に積極的に関わり地域から必要とされる学校の運営に努める。</p> <p>5 「くねっぴ学」の内容充実を図るため関係機関、地域との連携を一層図る。</p> <p>6 引き続き地域の活動に積極的に関わり地域から必要とされる学校の運営に努める。</p>	
情報発信と信頼向上	<p>評価項目全般にわたりおおむね十分であり、引き続き関係機関との連携や地域の教育資源を活用するなどの取組を継続する。</p>	<p>○左記の自己評価、改善方策を含めて、ほぼ適切との評価をいただいた。</p>
改善方策	<p>1 H Pのタイムリーな更新や一斉発信メール等を活用し、保護者、生徒、地域に適切な情報発信をすることができた。本校の魅力を効果的に伝えられるようさらに工夫する。</p> <p>2 同僚性や信頼関係を高めるために職場環境の充実に一層努める。</p> <p>3 教育公務員としての心構えを常に意識し、信頼と期待に応えるよう引き続き職務に励む。</p>	
公表方法	<p>学校Webページへの掲載、PTA役員・学校評議員会で公表および説明</p>	

### 3 添付資料

令和7年度学校評価票（自己評価・学校関係者評価、生徒・保護者アンケート集計）